



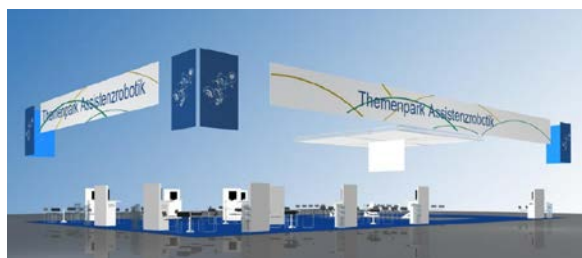
REHACARE 2012 では介護におけるロボットのテーマパークを設置

フラウンホーファーIPA 主催による同テーマパークはホール3で

■介護ロボットのテーマパーク

ロボットは長い間、世界の至る所で工業生産ラインでの信頼できるパートナーとして貢献してきた。しかし、ここ数年、ロボットの他分野での活躍の可能性に注目が集まっている。需要が高まる看護、介護分野でのロボットの可能性、身体障害者や高齢者の日常生活でのロボットによる支援の可能性・・・

ドイツ、デュッセルドルフで10月10日～13日に開催される国際介護福祉機器展 REHACARE 2012 では、このテーマについて1つの企画を用意。会場のホール3に介護用ロボットのテーマパーク（450 m²）を初めて設置し、地元ドイツやヨーロッパ、そして日本の研究者、企業が、今後注目度が更に高まる介護ロボットに関しての展示やプレゼンテーションを行う。同テーマパークはフラウンホーファー生産工学自動化研究所（IPA）が委託を受け運営し、日本からは東京理科大学、小林研究室がマッスルスーツを出展する。



「REHACARE は介護福祉機器のマーケットの現状を映し出すだけではなく、将来的に重要な役割を果たすことが見込まれる技術や製品を提案、発表していく

ものです」とメッセ・デュッセルドルフの取締役シェーファーは言う。

「少子高齢化の人口推移の傾向から見ても、社会は介護とそれを支えるサポート、双方のニーズのマッチングについての取り組みが急がれています。介護ロボットや技術サポート・システムは、どのようにこの分野で役立てるか？介護ロボットの技術的進化はどこまできているのか？倫理的な受容範囲は？など、新たに設置されたテーマパークでは、これらの問題を包括的に議論される予定です。このプロジェクトの運営は国際的に著名な研究機関であるフラウンホーファーIPAが行うため、非常に専門性の高いものが期待されます」と付け加えた。

介護ロボットのテーマパークでは以下の製品が出展予定されている。

- 家事用ロボット
- サービス、緊急コール、コミュニケーション用ロボット

- 歩行・移動支援用
- 電動車いす
- 誘導、起立、寝起き支援用
- 四肢・体幹保持装具
- 義肢、義足、義手
- 飲食支援用
- 操作・コントロール

■800を超える出展企業による介護福祉機器の出展

今回の REHACARE では介護福祉に関する幅広い製品やソリューションを提案する出展者が 30 か国から 800 社以上出展する予定。出展対象製品は移動機器から日常生活用品、介護施設用及び在宅ケア用機器・用品、コミュニケーション機器、スポーツ、旅行用品や建築・住宅設備など、介護福祉に関する機器・用品の全てを網羅。会場はデュッセルドルフ見本市会場のホール 3、4、5、6、7.0 及び 7a の 6 ホールを使用。

■好評の日独フォーラムを今年も開催

(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパンは今年も日本からの来場者向け「日独フォーラム」を会期中の 10 月 12 日に開催する（後援：在デュッセルドルフ日本国総領事館）。テーマは昨年も好評だった「福祉用具の安全性確保」についてのドイツ最新事情、また新たに介護ロボットのテーマパークと関連し、「介護分野におけるロボット：最新技術と普及」を予定。発表者は前者が Telgte クリニック医長兼ドイツ高齢者介護設備連盟品質管理部会の会長 B.エルケレス博士。後者はフラウンホーファーIPA ロボットシステム部 M.ヘーグレ部長（双方とも予定）。詳細は[こちら](#) 日独フォーラム参加がセットになったツアーは[こちら](#)

REHACARE の前売り入場券（日本円）、日独フォーラムの参加券や公式カタログ引換券の販売も(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパンで行っている。詳細・申込は[こちら](#)

REHACARE に関する日本でのお問い合わせは：

(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン 担当：服部

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1 ニューオータニガーデンコート 7F

Tel.03-5210-9951 Fax.03-5210-9959

mdj@messe-dus.co.jp www.messe-dus.co.jp <http://rehacare.messe-dus.co.jp>